

芦屋ユネスコ協会
事務局 〒659-8501 芦屋市精道町 7-6
芦屋市教育委員会 社会教育部
生涯学習課内

TEL 0797-38-2091
FAX 0797-38-2089

ホームページアドレス
<http://www.unesco.or.jp/ashiya/>
Eメールアドレス
ashiya@unesco.or.jp

発行：芦屋ユネスコ協会
会長 広瀬忠子



AU 通信

「戦争は心の中で生まれるものだから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」

第8回 芦屋ユネスコ協会 世界遺産・地域遺産見学バス旅行

[世界遺産～春の高野山～への旅]

紀伊山地の霊場と参詣道（高野山）

在原業平風に書きました。

芦屋川の桜祭りが最高の人出の賑わいをみせた1週間後の4月14日(月)大師のおわします聖地高野山へ大型籠に乗り48人で出掛けました。平安時代は徒歩にて難行苦行の巡礼道も、高速道路で大師ご母堂寺院・慈尊院まで100分と便利な時代となりました。高野山への表参道玄関となるその寺には、日本ユネスコ協会副会長平山郁夫先生の直筆石碑がございました。ご住職の講和を拝聴した後、お山へ向いました。昼食場所の遍照光院では13皿の精進料理をいただき、本堂や白河上皇の御座所や重要文化財がさりげなくある瞑想の間を拝観し御代の昔に戻ったような気がしました。その後1300年今もお大師様が生きているといわれる御廟まで樹齢数百年大杉の聖域の中を徒歩にてお参りさせていただきました。あまねく平等に未来永劫宮家ロイヤルファミリーから庶民まで人々の幸せを祈っていただいているというお大師様に手を合わせた次第です。

帰路、山麓の橋本市の産直市場にて今晚のお野菜を仕入れ少し帰宅の時間が遅れた途中の湾岸高速で茅ぬの海から沈む大きく真っ赤な太陽に遍照光院のご縁を感じたような気がしました。又。夜、目をつむると帰路深山幽谷の天空から舞い降りる桜吹雪模様に心地よい疲れとともに眠りについたのでございます。(交流部会 理事 中川明)



2008 年度・芦屋ユネスコバスツアー —今回の見学地紹介—

—（立命館大学院生：・柴山礼子さん・萩原由香里さん・森 亮資さんの解説より抜粋記載）—

1、高野山とは？

『高野山』とは、特定の山の名称ではなく、千メートル級の山々に囲まれた真言密教の聖地を指す地名です。高野山の歴史は、弘仁7年（816）に嵯峨天皇が高野山の地を空海に与えたことから始まります。以来、千年近くの間、宗教的な聖地として多くの参詣者を集めてきました。しかし明治時代以降、単なる宗教的な参詣だけではなく、避暑も兼ねた観光地として注目されるようになります。それは同時に、今まで聖地として守られてきた高野山が世俗化していくことも意味していました。

近年、世界遺産に認定されたことで、高野山は世界規模の観光地となりつつあり、密教の神秘性に引かれて海外からも大勢の観光客が訪れるようになっていきます。単なる観光地ではなく、真言密教の総本山としての本来の存在意義が問われているのです。今回のユネスコ世界遺産ツアーでは、高野山が宗教的聖地と観光の共存を如何にして模索しているのかを見学するという趣旨から行われました。

2、高野山の表玄関・慈尊院について

かつて、聖地であるとの理由から、女性は高野山への立ち入りが禁止されていました。そのため空海の母は、高野山の表玄関的役割を果たしていた慈尊院に滞在することになります。空海は月に九度、高野山から二十数キロ以上の山道を歩いて母に会いにきたと伝えられており、ここから九度山（くどやま）という地名が生まれました。

慈尊院から高野山へ至る登山道は、表参道としての役割も持っています。車なら一時間足らずで到達できる距離を、何時間もかけて自らの足で高野山へと登っていく巡礼者が今もお絶えません。交通手段が発達により誰でも簡単に訪れることができるようになりましたが、敢えて困難な道を歩むことで、悟りの境地を目指す人々もいるのです。慈尊院は現代でも、高野山へと徒歩で参詣する人々の起点となっています。

3、高野山最高の聖地・奥の院

一の橋から空海の廟までの参道と、御堂を含んだ地域のことです。一の橋から廟までの片道2キロの参道両脇には大小さまざまな墓が立ち並んでおり、その数は二十万基を超えていると言われています。

奥の院に納髪・納骨するという慣わしは、源氏物語の著者・紫式部が仕えていたことで知られる、藤原道長の娘・上東門院彰子に始まります。以来、多くの貴族や大名が分骨をし、奥の院に墓を建てるようになります。その名を見ると、曾我兄弟、熊谷直実・平敦盛、武田信玄・勝頼、上杉謙信、伊達政宗、薩摩島津家、井伊直弼など、有名な人物の墓はほとんどあるといっても良いほどです。しかしながら、川中島の戦いで知られる武田信玄と上杉謙信の墓が産道を挟んで向かい合うように建てられているなど、ここでは敵・味方関係なく弔われており、世俗の世界での因縁を越えた場所となっています。



- ◎ 4月14日(月)・世界遺産見学バス旅行 8時30分発 世界遺産～春の高野山～の旅
- ◎ 6月 7日(土)～8日(日)・日本ユネスコ運動全国大会 (於：東京・目黒区)
- ◎ 6月20日(金)・芦屋ユネスコ協会 総会・記念講演・会員懇親交流会
17時30分～(市民センター)
- ◎ 7月19日(土)・民間ユネスコの日街頭PR行事(ビラ配布)
9時～(JR芦屋駅周辺3カ所)
- ◎ 8月15日(金)・平和の鐘を鳴らそう行事 11時45分～(市民センター)
軽食懇談会実施
- ◎ 10月22日(水)・第30回阪神間ユネスコ協議会連絡会 合同事業
14時～(ノボテル甲子園)
- ◎ 11月1日(土)～2日(日)・近畿ユネスコ活動研究会 in 姫路(姫路市内)
- ◎ 11月(計画中)・世界遺産セミナー(市民センター)
- ◎ 12月16日(火)・年末講演会&親睦会 18時～(ホテル竹園)
ビンゴゲーム・余興実施

その他行事は決定次第都度事前連絡させていただきます。手帳・カレンダーなどに記入し予定して下さい。

=お願い=

2008年度 総会 出席のお願い

下記の日時で、本年の総会が開催されますのでご予約下さい。

日 時 ; **6月20日(金曜日)午後 5時30分**

場 所 ; 市民センター 301室

総会終了後、直ちに岩本 昌三氏の**記念講演**「芦屋の文化遺産」があり、

その後 多目的ホールで**会員交流懇親会(パーティー)**を行います。

案内とご返事の往復ハガキを差し上げますので到着次第、**すぐに出欠の返信をして下さい。**

万一欠席の場合は委任状に必ず署名捺印して返信して下さい。くれぐれもよろしくお願い致します。

＝重要なお願い＝ **2008年度年会費納入のお願い**

今年の芦屋ユネスコ協会の年会費をなるべく早く納入して下さい。

出来るだけ役員さんに現金で届けて下さい。(領収書をすぐにお送りします) 銀行振込みの場合は

三井住友銀行 芦屋駅前支店 普通口座 3901693

口座名義 芦屋ユネスコ協会 会長 広瀬 忠子

※遅くなった方は、6月20日(金曜日)の総会で担当者に納入して下さい。

書き損じハガキ ご寄贈のお礼

2007年度は、下記の学校、団体、会員、市民の皆さんから沢山の「書き損じハガキ」をご寄贈頂きました。早速(社)日本ユネスコ協会連盟一本部一に送付し「世界寺小屋運動」即ち地球上の多くの文字の読めない人たちや世界の恵まれない子どもたちに学習の機会を与えるための教育支援に役立たせて頂きました。このような地道な取り組みのご協力に心より厚く御礼申し上げます。2008年度も引き続きよろしくお願い致します。

主要ご寄贈者

○芦屋大学附属中・高等学校○植村和人様○芦屋婦人会○レディースセミナーハウス
○芦屋市民病院○芦屋市役所・教育委員会○山手中学校○潮見中学校
○紺谷佳子様○成田和代様○福間公子様○河上せつ子様○芦屋川ロータリークラブ
○榎本幸生様(静岡県春日井市)○精道中学校○山手小学校○潮見小学校
○兵庫県立国際中等教育学校○精道小学校○兵庫県立芦屋高等学校
○岩園小学校○打出浜小学校
○市内外市民ご一同様・ユネスコ会員ご一同様

＜寄贈枚数順＞

ご協力者(推定)——各種団体・学校関係20ヶ所、個人約250名

その他 多数の皆さまに「書き損じハガキ」の回収に大変ご協力頂きました。(報告者:塩井君子)

編集後記

桜も少し遅いかな?と思いつつ...でも高野山の桜は満開からまだ早いもあり、楽しいバス旅行も無事に終わりました。

精進料理に舌鼓を打ち奥の院へのお参り...心 洗われました。

次は総会です。準備は少しずつですが進んでいますのでよろしくお願い致します。(本荘 美恵)